

生活者・生産者をむすぶ生活クラブ（エス）を楽しみ、参加する（エンジョイ&ジョイン）ための情報提供がジョイエスの役割です



1月に開催した総代意見交換会では、出席した総代から多くの質問・意見が寄せられ、活発な討議が行われました（関連記事 P2）

P3-5
特集

【鼎談】

「産地の未来をつくる、 まるごと栃木の地域内循環」

佐藤 友幸さん（JA なすの どでは会 会長）
秋元 一郎さん（栃木県開拓農業協同組合 農畜産部 部長）
豊崎 千津美さん（生活クラブ東京 副理事長）

- P2 総代意見交換会 開催報告
署名 11万 2,957 筆を提出しました
- P6 イベント案内（展示会・協同村・生活クラブの学校）
- P7 リレーコラム「4つのブロック単協が
新しい生協を創立して30周年」
わたしの声 Q&A・わたしの声カードなど
- P8 那須山麓米田植え交流会 参加者募集

組織の概要（2024年2月末現在）

- 組合員数（デポー含む）92,580 人 ●2月度加入 576 人／脱退 695 人
- 2月度利用高 17 億 1,808 万円／世帯当り 23,759 円（デポー除く）



紹介 キャンペーン

LET'S TRY



容量：485ml

2024
6/30
まで

生活クラブを
シェアしよう!

今なら!
紹介してくれたあなたに

国産温州みかんのストレート
果汁100% ジュースをプレゼント



詳細は同時配布のチラシまたはWEBをご覧ください



とよききらづみ 豊崎千津美さん
生活クラブ東京 副理事長



あきもといらろう 秋元一郎さん
栃木県開拓農業協同組合 農畜産部長



さとらともゆき 佐藤友幸さん
JA なすの どではら会 会長

豊崎 今日、今日は那須山麓米生産者のどではら会の佐藤さんと、野菜・豚肉・牛肉の生産者の栃木県開拓農業協同組合（以下、栃開）の秋元さんより、栃木県の生産者と生活クラブの連携による地域内循環の取組みについて伺います。では自己紹介をお願いします。

秋元 栃開の農畜産部長の秋元です。栃開では1983年度より生活クラブ向けの榎平田牧場（以下、平牧）の豚肉の生産を開始しました。翌年1984年度に私が入社して、勤め始めてから40年が経ちます。平牧の豚の品種や餌の統一を推進していくために採用されて、40年間ずっと生活クラブの生産担当をさせていただきました。

まるごと栃木生活クラブ提携産地協議会のあゆみ	
2007年	栃木循環型農業推進会議準備会設立 [耕畜連携、飼料用米の取組みなどについて意見交換]
2008年	まるごと栃木生活クラブ提携産地協議会設立 第1回まるごと栃木祭り開催（那須塩原市） [飼料用米、飼料用稲の作付け開始]
2009年	第2回まるごと栃木祭り開催（宇都宮市ろまんちっく村）
2010年	九州を中心にBSE発生。祭り・視察受入れ自粛
2011年	東日本大震災
2012年	放射能検査開始 さよなら原発栃木 action 参加
2013年	GMOフリーゾーン全国交流集會にむけた学習会・上映会を県内各地で開催
2014年	第14回GMOフリーゾーン全国交流集會を、まるごと栃木が中心となって運営
2015年	生活クラブソーラー栃木の発電開始
2016年	FEC自給圏学習会開催 [学習テーマ：食と農の地域連携、再生可能エネルギー、ユニバーサル農業]
2017年	まるごと栃木10周年まつり開催
2018年	交流部会・福祉部会・エネルギー部会・生産部会など部会活動の活性化
2019年	まるごと栃木生産者を訪ねる旅に那須拓陽高校の学生が参加
2020年	福祉部会にて「生活クラブ東京あきる野農園」の農福連携の取組みを視察 エネルギー部会にて「ソーラーシェアリング」の取組みを視察
2021年	ローカルSDGs学習会開催 オンライン版まるごと生産者を訪ねる旅を開催 栃木県立那須拓陽高校SOYプロジェクト主催オグザイに出店
2022年	子実トウモロコシの栽培開始

飼料用米・食肉から始まった、栃木での地域内循環

都市近郊にあり、生活クラブの中でも特に重要な食糧基地である栃木県の生産者、生活クラブと栃木県の提携生産者による「まるごと栃木生活クラブ提携産地協議会（以下、まるごと栃木）」は、飼料用米・飼料用稲の取組みから連携を開始し、持続可能な生産に向けた耕畜連携の推進をすすめてきました。生活クラブ東京では、組合員による産地訪問（那須山麓米田植え交流会・稲刈り交流会）や生産者を迎える会を通して生産者および産地を理解し、利用につなげる取組みを行っています。（関連記事P8）

また、那須山麓米をおいしく・手軽に食べられる品目として、生活クラブ東京の組合員が生産者と共に消費材の「こむすびちゃん」を開発し、2023年より取組みを開始しました。開発メンバーは那須山麓米の産地を訪問して生産者であるどではら会の会員と交流し、取組みの意義の発信を行っています。FEC自給圏の実現にむけた「食」の取組みを中心に、今後のエネルギーおよび福祉も視野に入れた、まるごと栃木の取組みについて振り返り、今後を展望します。

佐藤 2023年からどではら会の会長をしている佐藤です。うちは水稲を中心に、繁殖和牛も兼業しています。私ら夫婦と息子夫婦の4人で、農業経営をしています。どではら会には結成して約26年になります。現在の会員は28人で、耕作面積は借りているものも含めると一人当たり約7haです。

豊崎 生活クラブでは栃木県を重要な食糧基地と位置付け、地域の

中でどのような循環ができるか生産者と生活クラブの組合員も交えて話し合う場として、まるごと栃木を設立しました。まるごと栃木が始まった当初はどうでしたか。

秋元 2007年にできた準備会からは、飼料用米についての意見交換から始まりました。また、飼料用米生産での堆肥の利用も含めた循環型農業も課題としていました。

豊崎 飼料用米も含めて食肉から

産地の未来をつくる、まるごとと栃木の地域内循環

総代意見交換会開催報告

生活協同組合は相互扶助の精神に基づき、組合員の暮らしをよりよいものとするをめざし、組合員自身の手で出資・利用・運営する組織です。毎年6月に組合員の代表（総代）による総代会を開催し、活動の振返りと方針決定をしています。2024年度の総代会に向けた総代意見交換会を1月25日（木）に開催しました。総代意見交換会には総代78人が参加し、活発な意見交換が行われました。



質問・意見を求められ、発言をする総代

2024年度方針スローガン案

FEC 自給圏と働く場づくり、ローカルSDGsを基本テーマに「コミュニティ」を基軸とした居場所と出番のある組織と地域社会づくりの実現をめざそう！



加瀬理事長

冒頭、加瀬理事長より「1月1日に能登半島で大地震がおきました。被災された多くの方に、心よりお見舞い申し上げます。消費材の冷凍するめいかを生産している石川県漁協小木支所の港の陥没・隆起など一部影響があったほか、いくつかの原材料調達先の生産者も被災されました。生協陣営はいち早く現地に入り、生活クラブも緊急支援物資を届け、人的な支援も行っています。2月4日より始まる『能登半島地震復興支援カンパ』へのご協力をお願いします。今年度は生産者との対面の交流会が再開し、多様な企画が開催されました。原材料の高騰による消費材の値上げで利用点数が減っている厳しい状況ですが、生活クラブの活動は、改めて『消費材と人』だとその思いを一層深めた半年でした。厳しい状況を乗り越えていきましょう」と挨拶があり、積極的な発言を呼び掛けられました。



金丸専務理事

続いて、金丸専務理事より2024年度運動方針・事業計画案骨子が提案され、総代から28件の質問・意見がありました。「職員の学ぶ機会に組合員としても参加し協力できる」、「WEB即時加入した組合員をコミュニティにつなげるための対策」、「子育て世代向けに離乳食開発やレシピ掲載を豊富化するべき」、「拡大専門スタッフに予算をかけて欲しい」、「コミュニティ活動への参加が難しい人が増えているが、オンラインなどで工夫している」、「シニア世代にやさしくみや消費材への期待」、「多世代の居場所も大事。地域の人を孤立させない活動は生活クラブだからこそできる」など、総代（組合員）が日頃から主体的に地域で活動している視点がうかがえました。活発な意見交換が行われ、生活クラブへの期待を共有しました。最後に、総代からの意見を今後の方針や活動の参考にし、よりおおぜいで活動をすすめることを確認しました。



署名112,957筆を政府に手渡しました

脱原発、脱炭素と再生可能エネルギーへの転換の加速を！署名11万2,957筆*を提出しました

一変えよう変えようエネルギー 電気でミライを変えようよ
変わろう変わろう再エネで 変わって止めよう気候危機

2024年2月6日、生活クラブ連合会主催の院内集会を衆議院第二議員会館で開催しました。経済産業大臣と環境大臣宛に署名を提出し、再生可能エネルギーへの転換の加速とそのための政策転換を要請しました。前日の大雪にも関わらず、会場94人・オンライン81人が参加する中、保坂展人さん（世田谷区長）や平田仁子さん（Climate Integrate 代表理事）、Fridays For Future Tokyoで活動をしている高校生2人、生活クラブの提携生産者など多彩なゲストスピーカーと国会議員10人からの発言があり、熱気あふれる場となりました。「自分の孫の世代に向けて後悔しないために、今できる対策や声をあげる活動をしている」という高校生からのスピーチに対し、多くの共感が集まりました。今年、日本の「エネルギー基本計画」見直しの本格的な議論が予定されています。生活クラブでは、すでに「原発はいやだ」のその先の実践をすすめています。省エネや「生活クラブでんき」の共同購入、再生可能エネルギーの電源づくりなど、一人ひとりの参加を積み重ね、身近なまちづくりの活動としてすすめていきましょう。

*提出した署名112,957筆の内、生活クラブ東京では23,728筆を集めました

* FEC自給圏：食（Foods）、エネルギー（Energy）、福祉（Care）を地域内で自給しようとする構想。経済評論家の内橋克人氏が提唱



始まり、飼料用米をどうにかし、循環の輪を広げるか検討されてきたんですね。佐藤さんはこの循環についてどう思われますか。

佐藤 うちでは飼育している和牛に稲わらを食べさせて、水田に堆肥を戻す循環型農業をしています。米だけでは経営が成り立たないので、他の会員は野菜も育てて堆肥は結構投入しているようです。

秋元 昨年度から始まった子実トウモロコシの生産でも、近くの養豚場の堆肥を使っています。耕畜連携はあちこちで取組まれていますね。ただ、費用や時間、CO₂排出量を抑制するために、なるべく近いところで対応をしています。

豊崎 栃木の地域内循環では、地域内乳肉一貫生産も特徴的です。

秋元 生活クラブは牛乳から始まった生協ですよ。その牛乳の生産者である新生酪農(株)の栃木工場に原乳を供給しているのが、那須那根酪農協同組合(以下、那根酪農)の酪農家です。那根酪農で原乳を生産するために、農家では母牛に子牛を出産させます。生まれた雌牛は母牛として育てられ、雄牛は生後約1カ月で栃開の肥育農家が引き取って育て、消費材の「栃木開拓牛」として供給しています。これが地域内乳肉一貫生産

組合員参加でつくる産地の未来

豊崎 栃木での地域内循環の実践を組合員が知る機会として、産地に行くことを大事にしてみました。まつりや「まるごと生産者を訪ねる旅(以下、訪ねる旅)」などでの交流への思いや印象に残っていることはありますか。

秋元 訪ねる旅では秋口の一番忙しい時期の生産現場を見てもらっています。組合員のみなさんには、現状を見て、知って、食べていただきたいですね。

佐藤 まつりで交流しながらお米やお肉を食べてもらったのは、組合員にも生産者にも好評でした。訪ねる旅では、私のところにも何度か来てもらいました。昨年はコンバインで稲刈りして、精米する設備も見てもらいました。

豊崎 大型の精米機が一家に一台あるんですね。規模の大きさに驚きました。昨年度から取組みが始まった「こむすびちゃん」の開催に参加した組合員も産地を訪問して、生産者と交流しました。そういう経験を組合員を増やしていきたいです。

佐藤 何人かはお子さんも連れて参加してくれました。那須山麓米にこだわった消費材をつくってもらって感謝しています。



の取組みです。これ自体はまるごと栃木の前から始まっています。

豊崎 牛肉も牛乳も、地域の循環があって生産できているんですね。どちらかわかって利用をしていきたいです。

秋元 栃開の会員のイソシンファームでは栃木開拓牛のほか、乳牛と黒毛和牛の交雑種を肥育した「ほうきね牛」も肥育しています。イソシンファームではお米もつくっていて、堆肥を田んぼに入れていくし、牛の餌の稲発酵粗飼料(WCS)も生産していて、自分の牛だけではなく那根酪農の乳牛にも食べさせています。

豊崎 現地に行くと、その流れがよくわかります。

国産飼料の拡大で産地の活用をめざす

豊崎 肥料や燃料、飼料など、生産にかかる経費が増大しています。輸入に頼らず、国内自給を高めるために、堆肥や飼料用米も利用されていますが、現状はどうですか。

佐藤 資材などのコストが上がっている中、生産されたものに価格が反映されていない状況です。昨年度の米価はいくら上がりしましたが、まだ適正価格ではありません。

秋元 一般的な養豚では、餌のほとんどを海外に依存しています。為替なども含めた海外の情勢に左右されるのを防ぐため、栃開では国内で生産された餌を増やしてい

子どものおやつにちょうどいい大きさで、食育として小さい時からお米を食べる習慣があると、大人になっても食べ続けてくれるのかなと思っています。

豊崎 日本の文化としても、主食のお米を食べ続けたいですね。最後に組合員に向けて、メッセージをお願いします。

秋元 農地は将来に渡って食や生活の根幹となるので、できる限り農地を守る活動をしていきます。

佐藤 後継者の育成が必要ですが、お米の消費は年々減っていて厳しい状況です。一人が食べられる量には限度があるし、食生活も多様化しています。これからの安全・安心なお米をつくり続けていくので、組合員を増やして、より多くの組合員に会う機会をつくってもらえると心強いです。

豊崎 まるごと栃木の取組みはとても先駆的で、私たちの自慢です。エネルギーや福祉にも取組みを広げようとしている、都市近郊の顔の見える生産者の消費材を食べ続けることの価値を組合員に伝えていきます。共感する組合員を増やして利用を高めることで、私たちの選択を未来につなげていきましょう。

ます。平牧では最後の仕上げの若豚の餌として、飼料用米を45%与えています。子実トウモロコシは2年前から作付けを開始して、給餌を少しずつ始めています。地域で生産した飼料を豚や牛に与えて餌の価格を安定させ、組合員価格の変動も抑えたいと考えています。

福祉やエネルギーにひろがる、まるごと栃木の取組み

豊崎 気候変動による生産への影響は感じますか。

佐藤 昨年度は高温とカメムシ類の影響が大きく、米の品質が下がった地域もありました。どではら会は「なすひかり」という品種の米を栽培していますが、今年度はカメムシ類の対策として、新品種の「とちぎの星」を試験栽培する予定です。

豊崎 栃開ではどうですか。

秋元 暑くなると、豚も牛も成長が遅れます。畜舎内の温度を下げるために換気や遮熱をしますので、そのための経費がかかっています。農福連携の取組みとして福祉施設の方との加工用トマトの収穫を計

お肉も牛乳もお野菜もお米も
まるごと生産者を訪ねる旅

2023年10月14日(土)に、まるごと栃木が主催した産地訪問企画が開催され、東京・栃木・神奈川県・埼玉の組合員が参加しました。午前はどではら会・新生酪農(株)・那須那根酪農の生産者を訪問して話を伺い、午後は会場でオンラインも活用して豚肉・牛肉・野菜の産地の状況や、加工食品・生活クラブ栃木の取組みについてお話を伺いました。



▲どではら会の佐藤会長の圃場 コンバインの大きな音と効率的に稲が刈取られる様子に圧倒されました



▲佐藤さんの敷地内の精米機を背に、佐藤さんの息子さんから生産についてお話を聞きました



▲敷地内では和牛が飼われていました



▲那根酪農の熊倉牧場では、原乳の生産について伺いました



▲新生酪農(株) 栃木工場 那根酪農の生産者が運んできた原乳の受け入れ



▲工場内では製造工程を見学しながら、生産の状況を伺いました



▲牛舎の脇には乳牛の餌であるWCSが保管されており、給餌のために機械で必要な量を準備します



▲牛舎の中の乳牛。訪問した子どもたちに興味津々



▲乳を出す前の若い牛も、同じ敷地内で育てられています

まるごと栃木生活クラブ
提携産地協議会 会員団体 (11団体・順不同)

- ・栃木県開拓農業協同組合 [豚肉(提携先:(株)平田牧場)・青果物・栃木開拓牛・ほうきね牛]
- ・JA なすの [青果物] ・全農栃木
- ・JA なすの どではら会 [那須山麓米]
- ・那須那根酪農協同組合 [原乳]
- ・全国農協食品(株) [鶏ごほうごはん・牛肉とごほうのライスバーガーなど]
- ・新生酪農(株)栃木工場 [パスチャライズド牛乳 900ml・那須でつくったゴーダチーズ・那須でつくったさけるチーズ・那須でつくったカチョカヴァロ]
- ・(株)太陽ネットワーク物流 [物流全般]
- ・生活クラブ東京 ・生活クラブ栃木 ・生活クラブ連合会

画していました。しかし、酷暑の子報を受けて実施を見送りました。具体化はこれからですが、少しずつ福祉との連携を始めています。



Q わたしの声 Q & A

Q: リユースびんにフィルムのようなものがついているのはなぜですか？

A: リユースびんを洗って回収繰り返し使用する、生活クラブのグリーンシステムにご協力ありがとうございます。

調味料やジュースなどに使われている超軽量 R びん (900ml、500ml、360ml) と牛乳びん (900ml) は、外側の表面をウレタン樹脂で薄くコーティングすることで強化し、約 40% の軽量化が実現しました。牛乳びんなら 50 回以上、R びんなら約 35 回の再使用ができるように作られています。

《グリーンシステムにご協力ください!》

R びん: プラキャップやラベルを外して、軽く水洗いして返却してください

※外れない場合は無理せずそのまま返却してください

牛乳びん: 水洗いしてキャップやサイドスコーアも合わせて返却してください



▲牛乳びんのキャップ (上) とサイドスコーア (下)

2月 理事会報告 議事抜粋

- 第 20 回水俣病記念講演会への協賛依頼への対応
- 2024 年度第 1 期 (4月~7月) 拡大活動方針について
- 2023 年度法政大学寄附講座の振返りと 2024 年度の開講について
- にかほ院内風力発電事業への 2021 年度融資に関する契約内容の変更に関する承認
- 生活クラブ生活協同組合 (神奈川) の員外理事候補推薦について
- 2023 年度期末成果配分一時金について
- 協同村ひだまりファームの今後の運営方針について
- 居住支援事業の 2023 年度総括ならびに 2024 年度方針について

東京理事の リレーコラム

「4つのブロック単協が新しい生協を創立して 30 周年」

生活クラブは 1965 年に 200 人の会員で 329 本の牛乳を共同購入したのがはじまりです。任意団体として東京都世田谷区で誕生した生活クラブは、1968 年 10 月に 1,026 人の設立賛同者を得て生活協同組合の創立総会を開催し、生協法人として活動を開始しました。

80 年代は小規模な生協が再編統合する時代のなかで、生活クラブは地域社会を自ら治めていくための生活者運動の構築をめざしました。組合員の参加や主権をどう考えるのかという議論や対話を重ねたことがポイントです。協同組合という組合員一人ひとりが主人公の組織をめざして地域密着型の生協づくりに舵をきり、1993 年 12 月に 23 区南生活クラブ生協、1994 年 1 月に北東京生活クラブ生協、1994 年 3 月に多摩きた生活クラブ生協・多摩南生活クラブ生協として新しい生協を創立しました。

それから 30 年、すべての人がいきいきと暮らせる地域社会の実現をめざし、誰かに期待するのではなく、市民が自前で解決をめざし個人の「私」がおおぜいの一歩をつくるために行動しています。これからも生協が基本とする自発性を大切に、民主主義と自治の定着をめざした組織運営を展開していきます。

2024 年度は 30 周年記念のまつりや大試食会など、新しい出会いや共感が広がる機会が増えると思います。30 年の歴史を振り返りながら「いのち」や「くらし」に優しい「共生と循環型社会」の実現に向けて、楽しみながら元気に運動を推進していきましょう。

(生活クラブ東京 専務理事 金丸 正樹)



イベント案内

● WEB でも詳細の確認・お申込みができます



展示即売会

紳士・婦人スーツのお仕立て

●デポー展示即売会

春・夏物の新柄が入荷いたしました! サイズやデザインなど細部まで好みにあわせ、高級生地もお手頃価格でお選びいただけます。ジャケット、パンツ等単品の注文も承ります。約 4 週間でお届けいたします。

○デポー八王子みなみ

4月6日(土) 7日(日) 10:30 ~ 17:30
会場 & 問合わせ: デポー八王子みなみ (八王子市別所 1-69-5)
TEL: 042-670-3099

○デポーせたがや

4月12日(金) 13日(土) 10:30 ~ 17:30
会場 & 問合わせ: デポーせたがや (世田谷宮坂 3-13-13)
TEL: 03-5426-5211

○デポー国領駅前

4月20日(土) 21日(日) 10:30 ~ 17:30
会場: 調布センター (調布市国領町 3-4-3)
問合わせ: デポー国領駅前
TEL: 042-442-0710
同時出展: 東京真珠 (宝飾品)、アイ・メイ ト (めがね)、PeaPod (シルクインナー)、エジソンのたまご (おもちゃ)、アフロディーテ (バッグ)、ファール (婦人服)

●赤堤館スーツお仕立て会 **予約制**

5月3日(金) ~ 6日(月) 10:00 ~ 16:00
会場: 生活クラブ赤堤館 (世田谷区赤堤 4-1-6)
《事前予約制》ご来店のご希望日時をお電話にてご連絡ください。
予約電話番号: 03-5300-4688 (定休日: 水・日)

展示会関連

TEL 03-3324-4502 (10:00 ~ 16:00)
定休日: 水・日 (祝日の場合は営業)

●きく屋宝石店

ジュエリーリフォーム&修理フェア

4月4日(木) ~ 15日(月) 10:00 ~ 19:00 (日曜日は 18:30 まで)
会場: 株式会社きく屋宝石店 渋谷・宮坂坂本店 (渋谷区渋谷 1-8-7)
パール糸替え、指輪サイズ直し、新品仕上げ、また他店でご購入のジュエリーの修理なども承ります。

●天地堂 ランドセル

2025 年モデル発売中!
ランドセルお買い上げの方にもれなく、「防水用ランドセルカバー」をプレゼント。ランドセル専門店の天地堂が自信をもってお勧めします。カタログご希望の方は、お電話または WEB でお申し込みください。



問合わせ
事業管理課
TEL 03-5426-5206 (9:00 ~ 17:00)

協同村

豊かな自然の中で、農業体験やキャンプなどが楽しめる生活クラブの施設です。

入材料: 510 円 (4 歳~小学生 310 円)
駐車料: 600 円/1 日

ワーカーズ・コレクティブ草の実主催企画

●石窯ピザ焼き体験

4月27日(土) 28日(日)
5月3日(金) 4日(土) 5日(日) 11:00 ~ 13:00
参加費: 1,600 円/1 人
ピザ生地を伸ばしてトッピング、石窯に入れて焼きます。

●協同村の自然観察と

夜のムササビ観察

5月4日(土) 5日(日) 17:30 ~ 20:00 頃
参加費: 700 円/1 人 (小学生以上)
ムササビ観察、生態などのお話もあります。

●ソーセージ作りと石窯パン

5月11日(土) 10:00 ~ 15:00
参加費: 2,500 円/1 人
羊腸とセロハンでソーセージを作り、石窯で焼いたパンにソーセージを挟んで食べます。オプションでお昼にピザもあります。(要予約・別料金)

●石窯貸だし用のための講習会!

5月12日(日) 10:00 ~ 15:00
参加費: 4,000 円/1 人
石窯の使い方を学び、自分だけで使いこなすための講習会です。

●手もみで美味しい my 紅茶を作ろう

5月26日(日) 10:00 ~ 15:00
参加費: 2,200 円/1 人
お茶の葉を摘んで my 紅茶を作ります。石窯でパウンドケーキも作ります。オプションでお昼にピザもあります。(要予約・別料金)

NPO 法人地球野外塾との共催企画

●ローテク火おこしデイキャンプ

4月21日(日) 10:00 ~ 16:00
参加費: 5,000 円/1 人
マッチ、ライター、ファイアスターター、きりもみなどいくつかの火おこしを体験します。

●多機能ナイフ活用デイキャンプ

5月19日(日) 10:00 ~ 16:00
参加費: 5,000 円/1 人
マルチツールナイフを余すことなく使いこなそう!

協同村ひだまりファーム

あきる野市戸倉 863
TEL 042-596-0103
休村日: 火・水

生活クラブの学校

【NPO 法人コミュニティスクール・まちデザイン (CS まちデザイン) との共催企画】

食農共育講座

※受講料は組合員価格
会場: 生活クラブ館 (世田谷区宮坂 3-13-13)
詳細は WEB または 4/1 ~ 配布のチラシをご覧ください。

●家庭の食医 季節の養生法

5月14日(火) 10:30 ~ 12:30
講師: 中島玲子さん (漢方薬・生薬認定薬剤師、国際中医師、国際中医薬膳管理師)
受講料: 2,800 円
1 回ごとにお申込みいただける講座です。今回は「頭痛」をテーマに養生法を学びます。薬膳茶の試飲もお楽しみに。

●たべものラボ~セミナー&クッキング

5月17日(金) 10:30 ~ 13:00
講師: 近藤恵津子さん (CS まちデザイン理事長) 山田郁子さん (CS 料理講師)
受講料: 4,900 円
月 1 回開催。タイムリーな学びと手軽でおいしい料理づくりを楽しむ講座です。今回は「サステナブルな養殖」のセミナー後、「えびかつ」などを作ります。

●キッズたべものラボ ~ Let's cook !

第 1 回 A 5/19(日) B 5/26(日) C 6/26(日) (全 4 回、3 クラス) 10:00 ~ 11:45
講師: 松田季美子さん (CS 料理講師)
受講料: 4,800 円/回 (年長~小学生対象)
料理の基礎を身につけ、グループで楽しく実習します。食材クイズも人気。第 1 回は「にんじん蒸しパン」などを作ります。

●家庭の食医認定講座

~応用養生編~
第 1 回 5月24日(金) 10:30 ~ 12:30
講師: 中島玲子さん (漢方薬・生薬認定薬剤師、国際中医師、国際中医薬膳管理師)
受講料 (5 回連続): 12,300 円
月 1 回の 5 回連続講座がスタートします。今期は五臓の生理機能を学びます。

NPO 法人 CS まちデザイン

TEL 03-5426-5212

..... 切り取って下の部分を提出してください



わたしの声 カード

生活クラブや消費材への意見・要望、企画申込みはこの用紙で。

回答は、組合員活動の経験を活かして専任スタッフがお答えしています。

氏名	電話番号	提出日
センター デポー	組合員 コード	/

《お願い》 ご記入の内容について該当項目に○をつけてください。

- ①提案・要望・質問 ②みんなに伝えたいこと ③ジョイエスの感想 ④企画申込み ⑤その他
●質問には 2 週間程度でお答えしていますが、詳しい調査が必要な場合などさらに時間をいただくことがあります。
※事故品の連絡は現物を保存のうえ、すぐにコールセンター・デポーにお電話ください。生鮮品の報告は翌週末までです。
※配達をご利用の方は配達便に、デポーをご利用の方は各デポーのフロアワーカーズまでご提出ください。

事務局記入欄	
センター/デポー	東京本部
/	印

ご希望のイベント名をご記入ください

※ご記入いただいた情報は目的以外、または次の条件以外では第三者に開示しません。
①ご本人の同意がある時 ②ご本人と特定できない状態で開示する時 ③生活クラブの関連団体、提携先より回答することが望ましい場合。

生活クラブ東京 WEB サイトからも提出できます。みなさんの声をお待ちしています。 生活クラブ東京 わたしの声 検索

※社会情勢を鑑みて、企画内容が変更、または中止・延期となる場合があります。ご了承ください。

田んぼに入って、
私たちの「米」を知ろう！

那須山麓米田植え交流会

▲那須塩原にある交流田

毎日食べている、おいしい「ごはん」。その米がどのように育てられているかご存じですか？
栃木県にある、那須山麓米生産者グループ「どではら会」の田んぼでの田植えや稲刈り体験で、
私たちの「米」がもっとおいしくいただけます。3回の交流会を通して「つくる」と「食べる」の
距離を縮め、生産者との関係を深められる那須山麓米交流会にぜひご参加ください！

参加者募集

田植え交流会 5月18日(土)



おおぜいの組合員で小さな苗を植えます。柔らかな田んぼの泥が気持ちいい！

稲刈り交流会 9月28日(土)



秋になったら、田んぼで稲刈り。
あんなに小さかった苗が立派な稲に育っています！
※田植え交流会ご参加の方に、別途ご案内をお送りします。

迎える交流会

11月には那須山麓米の生産者を東京の各地域にお招きし、交流会を開催する予定です。

申込要領

開催
日時

5月18日(土)
AM7:15 ~ PM6:30

当日は新宿駅付近で集合・解散。
貸切バスで移動します。
帰着は道路状況により、前後する可能性があります。

参加費
1人当たり
(税込)

大人 4,000 円
3歳~小学生 3,500 円

昼食代含む ※事前の振り込み

申込
方法

WEB またはお電話で
T-LIFE ホールディングス株式会社
本社内支店予約担当 波左間
TEL : 03-6758-4342



お申し込み



旅行条件

受付：9:00 ~ 18:00 (土・日を除く)
※「旅行条件(全文)」を必ずご確認の上お申込み
ください。
https://www.t-life.co.jp/pdf/joken_shusai_domestic.pdf?220101
(T-LIFE ホールディングス株式会社 WEB サイト)

【申込締切 4月12日(金)】

注意
事項

- ① 3歳未満のお子さんは参加できません。
- ② 長時間のバス移動となります。車酔いされる方はご遠慮ください。
- ③ 申込多数の場合抽選し 4月24日(水)までに結果をご連絡します。
- ④ 雨天決行。現地で生産者との交流会を行います。
- ⑤ キャンセルの取扱い詳細についても、抽選後のご案内でお知らせします。

【旅行企画・実施】

T-LIFE ホールディングス株式会社
観光庁長官登録旅行業 第197号
〒179-0075 東京都練馬区高松 5-11-26 光が丘MKビル4階
総合旅行業務取扱管理者 細井集一
※旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行契約に関し担当者からのご説明にご不明な点がありましたら、遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者にご質問ください。

【企画内容に関する問い合わせ】

生活クラブ東京 政策調整部
TEL : 03-5426-5204

※社会情勢を鑑みて、企画内容が変更、または中止・延期となる場合があります。その場合は参加予定の方にご連絡します。

生活クラブ東京の
最新情報を
WEB・SNSで発信中！

生活クラブ
東京



WEBサイト



Facebook



Instagram